

2021年11月25日

各 位

会 社 名 株式会社KG情報
代 表 者 名 代表取締役社長 益田 武美
(J A S D A Q ・ コード 2408)
問 合 せ 先 岡山市北区平田170-108
役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長
三上 芳久
電 話 086-241-5522

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。

当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

●当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は後述の施策を実施することで流通株式時価総額に関し、2022年度中に上場維持基準を充たす所存です。

	株主数(人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額(億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況(移行基準日時点)	3,113人	26,797単位	9億円	36.2%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
計画書に記載の項目			○	

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出したものです。

●上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

当社は2020年度まで3期連続で営業損失及び経常損失並びに親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、かかる業績不振による株価低迷により流通株式時価総額基準への不適合という事態に至ったと認識しております。従いまして、まずは業績回復をはかることが何よりも重要と考えております。

業績については、2021年12月期は営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を計上予定であります。

これは、数年前より実施しておりますフリーペーパーの休刊、配布方法の変更及び不採算エリアの撤退等に伴う経費削減の効果が表れてきたことによるものです。また、2021年度中には固定資産の譲渡による経営資源の有効活用及び資産効率の向上を進め、更なる固定費の抑制に努めました。

2022年度以降につきましても、引き続き経費の抑制を図るとともに、営業収益については、求人関連情報では、他社との業務提携による情報量の充実によるウェブサイトでの広告料収入の強化、人材紹介・派遣、技能実習生や特定技能等の就労資格で在留する外国人向けのサポートや受入れ企業へのコンサルティング等を実施し、増収につなげてまいります。

ライフ関連情報は、家づくり相談・紹介サービスの「家づくり学校」の店舗数を増加し収益基盤の更なる強化に努めてまいります。また、賃貸物件情報ポータルサイト「賃貸スタイル」を運営しておりますが、2021年度には、中古一戸建てと中古マンションの購入情報専門のサイト「ちゅうこだて!」「ちゅうこま!」を開設し、情報量を充実させ新規ユーザーの獲得強化を進めております。今後につきましても新たなサイトを立ち上げ、賃貸・不動産の総合サイトを目指し、収益力の向上を進めてまいります。

上記施策を進めることにより、安定的な利益を生み出し、配当等により株主へ還元をすることで、企業価値の向上、株価の上昇・安定化に繋げ数値目標を達成できるよう全力を注いでまいります。

以 上

<ご参考>

	営業収益	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する当期純損益
2021年12月期(予定)	2,114百万円	15百万円	16百万円	69百万円
2020年12月期	1,911百万円	△367百万円	△347百万円	△385百万円